

サステナビリティ活動基本方針

黒崎播磨株式会社

- 当社は、グループの企業理念を宣言したミッション・ステートメントにおいて「たゆまぬ革新を通じ、セラミックス分野の価値ある商品、技術を世界に提供し、産業の発展を支え、社会の繁栄に貢献」することを「使命」として定めており、また、お客様、従業員、パートナー企業、地域、地球環境、株主などの様々なステークホルダーに対する姿勢を「経営方針」として定めております。
- このミッション・ステートメントの考え方に則り、これからも当社の技術と事業活動を通じ、持続可能な社会の実現に積極的に取り組んでまいります。
- 持続可能な社会の実現にあたり「環境」「社会」「ガバナンス」の視点から当社が今後も引き続き取り組んでいくテーマは次の通りです。

【環境】

- ・「熱を操る技術」による気候変動対策の推進
- ・地域環境の保全(水環境・緑環境・大気汚染)
- ・リサイクルの推進
- ・化学物質規制対応

【ガバナンス】

- ・コンプライアンスの徹底
- ・コーポレートガバナンスの推進

【社会】

- ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ・地域との共生
- ・顧客への安定供給
- ・人権保護の徹底
- ・人材育成
- ・労働環境整備の推進
- ・品質管理の徹底
- ・労働安全の徹底

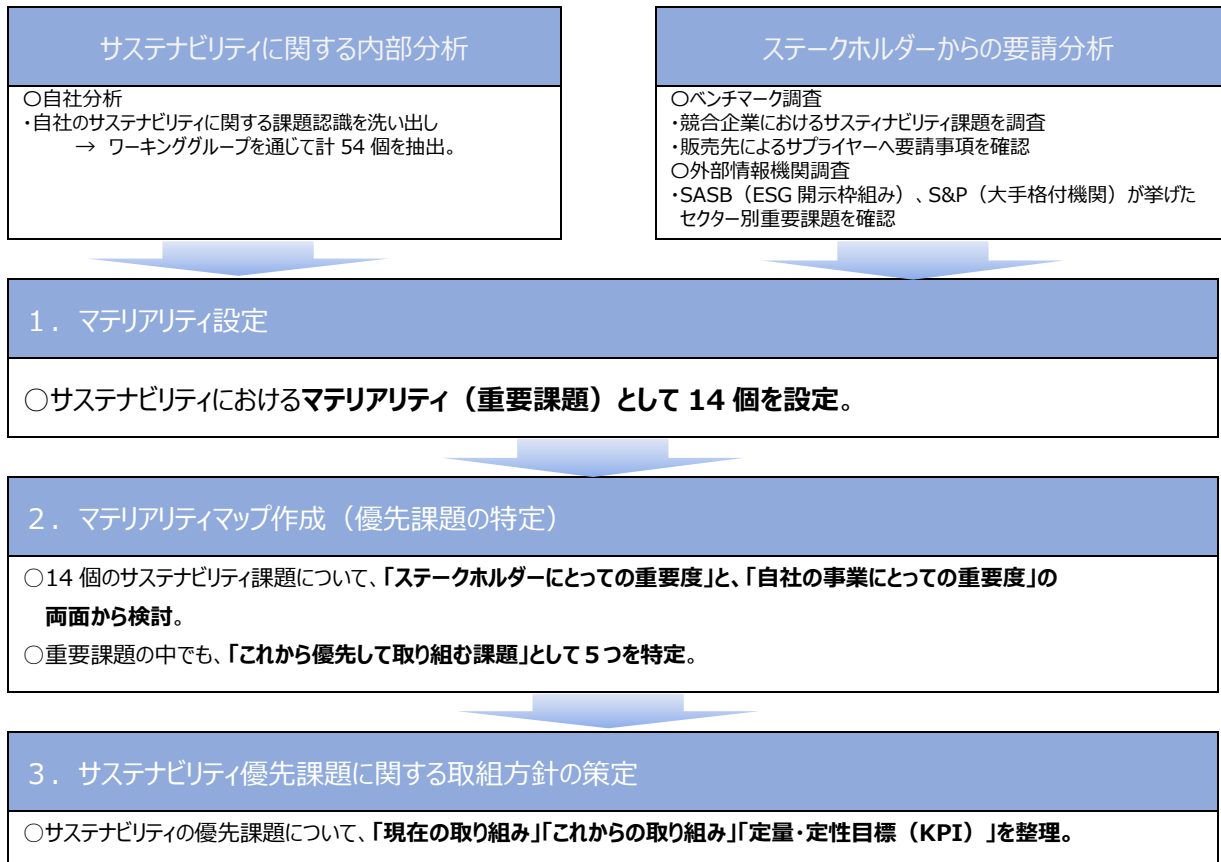
- これらのテーマはいずれも当社が事業活動を行う上で重要な課題ではありますが、その中でもこれから特に優先的に取り組むべきと考える課題は次の通りと考えます。
 - ▶ 「熱を操る技術」による気候変動対策の推進
 - ▶ ダイバーシティ&インクルージョンの推進
 - ▶ 地域環境保全(水環境・緑環境・大気汚染)
 - ▶ 地域との共生
 - ▶ リサイクルの推進



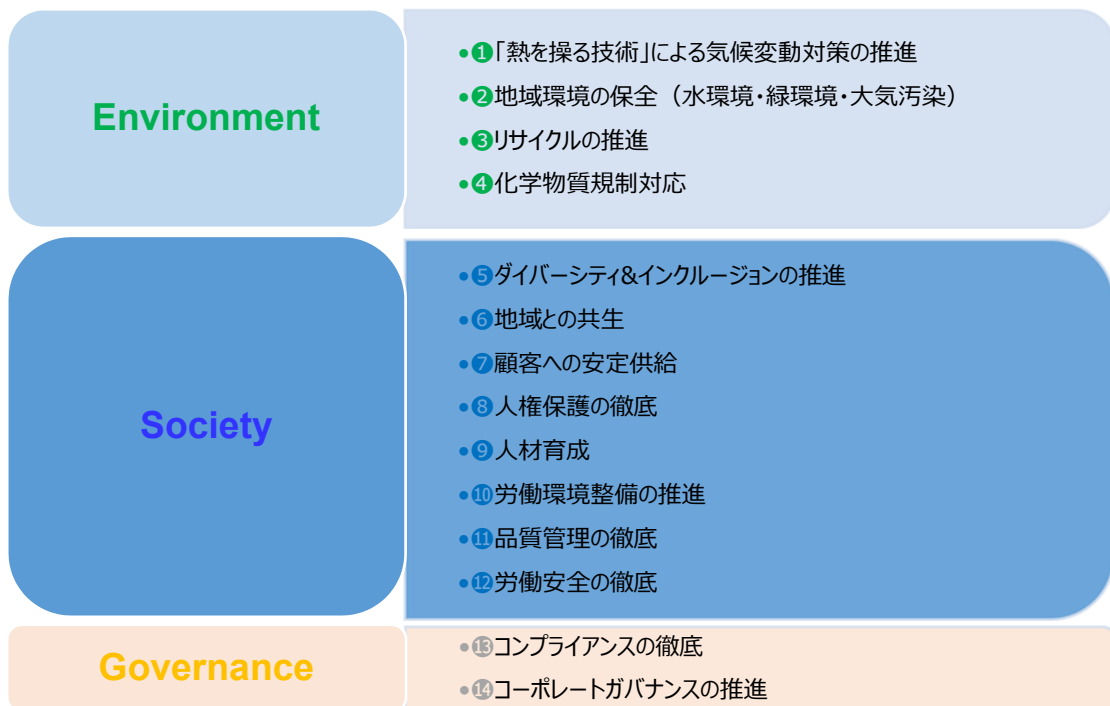
以上

(参考資料)

1. サステナビリティ課題整理の検討プロセス



2. サステナビリティ課題一覧



3. 優先課題の位置づけ



4. 優先課題の取組内容

●「熱を操る技術」による気候変動対策の推進

現在の取り組み		これからの取り組み	定量・定性目標 (KPI)
①自社でのカーボンニュートラルの取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル実現検討プロジェクト発足。 CO₂排出量の削減目標設定と対応策の検討。 		<ul style="list-style-type: none"> 不焼成れんがの普及・推進 顧客に対する製品当りの排出量開示 	<ul style="list-style-type: none"> <単体 Scope1・2> 2013年：169千t 2030年：85千t（2013年比▼50%） 2050年：実質的カーボンニュートラル
②お客様でのCO₂排出量削減への貢献			
<ul style="list-style-type: none"> 各事業において以下の取り組みを推進。 		<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン全体のGHG排出量の把握・目標設定 当社製品の使用でお客様のCO₂排出量削減へ貢献 	
[耐火物]	<ul style="list-style-type: none"> 高耐用、高機能耐火物の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 低熱伝導耐火物・無予熱耐火物の開発等 	(今後の分析を踏まえ検討)
[ファーンズ]	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー工業炉設計・低熱伝導耐火物の施工、バイオマス発電等環境分野での受注 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー工業炉設計・低熱伝導耐火物の施工、バイオマス発電等環境分野での受注拡大 	
[セラミックス]	<ul style="list-style-type: none"> 断熱性を持つセラミックスを省エネ環境、エレクトロニクス、医療・宇宙等へ提供 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料電池・発電・鉄鋼・工業炉関連への断熱材及びファインセラミックスの適用拡大 コンデンサー高速焼成炉用軽量セッター開発・適用により製造工程、半導体使用機器でのCO₂削減に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端半導体装置量産機での実機採用(2025) 省エネ半導体製造装置の量産段階での実機採用(時期未定)
③鉄鋼新プロセスへの対応			
<ul style="list-style-type: none"> 使用量自体の削減(高耐用化、リサイクル化) 		<ul style="list-style-type: none"> COURSE50プロセスを支える高性能断熱材、高機能ファインセラミックス等の実現と耐火物技術評価と開発 <ul style="list-style-type: none"> ✓ COURSE50実用化段階の実機搭載(2025~30) ✓ 普及段階での実機搭載(～2050) 	-
④CO₂削減投資推進			
<ul style="list-style-type: none"> 設備投資経済性評価にCO₂削減インセンティブ評価導入 		<ul style="list-style-type: none"> CO₂削減インセンティブ評価を継続実施。 	-

●ダイバーシティ&インクルージョンの推進

現在の取り組み	これからの取り組み	定量・定性目標 (KPI)
①ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み		
・障がい者、女性、外国人の活用を推進中 ・ダイバーシティ&インクルージョンに関する会社方針策定済み	・世界各国の従業員が活躍するグローバル企業としてダイバーシティ&インクルージョンを推進。	・次の項目について目標設定し、別途開示。 ✓総合職女性採用比率 ✓女性役職者比率 ✓年間総実労働時間設定 ✓年次休暇取得日数ターゲット ✓社員健康管理に関する目標等
②女性役員登用		
・女性役員不在	・今後対応予定	・1名以上の女性役員を起用。

●地域環境の保全 (水環境・緑環境・大気汚染)

現在の取り組み	これからの取り組み	定量・定性目標 (KPI)
①産業廃棄物排出による生物への影響の低減		
・廃棄物基準に準じた排出の実施。	・リサイクル推進と歩留まり向上による耐火物の減量継続	-
②生産工程における排水処理の徹底管理		
・工場排水を水処理施設で清浄化し製造工程で再利用、節水と環境にやさしい排水を実施。	・再利用拡大と節水の継続。	-
③有害物質の構外流出防止		
・管理強化、監視、漏えい時の訓練実施。	・人に優しい化学物質への置換推進	-
④異常燃焼によるばい煙基準値超え防止		
・基準値よりも厳しい自主管理値を設定し監視を実施。	・自主管理値を基準とした監視の継続 ・燃料変更による無害化促進	-

●地域との共生

現在の取り組み	これからの取り組み	定量・定性目標 (KPI)
①住みやすいまちづくりへの貢献		
・リサイクル煉瓦・景観材煉瓦で彩った駅前広場や公園の設置。 ・60%のリサイクル率。	・景観材煉瓦を使った、人々が住みよと感じる街づくり。 ・地域の環境、活性化等様々な分野への参画を積極的に行い、誰もが住みやすいまちづくりに貢献する。	-
②事業活動を担う次世代人材 (地域) の育成		
・地域イベントへの参加や清掃活動への参加、陸上部の活動を通じたコミュニティとの連携。 ・現地採用の推進	・地域の未来を担う次世代の人材育成に貢献する。 ・当社が社会へ提供する価値を共感いただき、次世代へ伝える。 ・スポーツ振興を通じて健全な心を持った人材を育成することに貢献する。	-

●リサイクルの推進

現在の取り組み	これからの取り組み	定量・定性目標 (KPI)
○各種耐火物におけるリサイクル原料活用、製品再生使用技術利用の推進		
・使用後耐火物のリサイクル原料適用拡大。	・お客様との現在の共同取り組み以外でのリサイクル原料の活用推進。 ・輸入も含めて外部から購入可能なリサイクル原料の情報収集と発信の強化。 ・調達製品はパーシクル原料のみで配合指示されていることが多く、リサイクル原料の配合指示の可能性を確認。	-
・ファーンズ事業：「粉砕・磁選・分級・秤量」の請負作業による産廃削減、耐火物リサイクルの推進・実行。	・請負作業のエリア拡大を検討。	-